

青梅市文化財ニュース

第 1 号

昭和62年 9月 7日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土資料室

(青梅市駒木町 1-684 Tel0428-23-6859)

文化財ニュースの発行について

文化財保護指導委員会 会長 高野 八郎

市民のみなさんに、身近な文化財を知っていただき、私達の郷土に少しでも関心を寄せて頂くことを目的に、このニュースを定期的に発行することに致しました。お役に立てれば幸いです。なお、市役所、郷土博物館、各市民センターに置いてありますので、ご利用下さい。

成木地区の文化財

安楽寺（上成木行都バス下分公会堂下車）の「本堂」（都有形文化財）は建築面積は約 372 m²で、四間並列の八間取の書院風建築です。棟例によると元禄6年（1693）の完成で、都内に残っている書院風本堂のうち、最古のものです。屋根はもと萱葺き（カヤぶき）でしたが、昭和51年保存修理の際に萱葺き型銅板葺きに改めました。

安楽寺にはその他「仁王像」（都指定有形文化財）、「宝塔」（都指定史跡）や、都天然記念物の「大スギ」（目通り幹周り約6.7m、樹高約40m、寄生木のあるところから通称『成木安楽寺のヤドリスギ』とよばれている。）があります。市指定有形文化財には『大般若経』（経壇を含む）、「両界曼陀羅」、「不動明王軸」があります。また、天ヶ指共同墓地内（都バス八小前下車）には、南北朝時代の洗練された優美な「青石塔婆」（釈迦三尊種子の板碑）一基もあります。

都有形文化財「熊野神社本殿」（都バス大熊野公会堂前下車）は、寛永12年（1640）12月の建築になるもので、形式および構造は一間春日造り、とち葺きで、成立年代のはっきりしている春日造り小祠として秀作です。なお境域は都指定史跡になっています。市指定無形文化財としえ大蔵野神社獅子舞があります。

その他成木地域には「慈願寺の鰐口」、「延命寺山門」、「石灰採取跡」、「高水山獅子舞」等の市指定の文化財があります。

文化財ミニミニ情報

◎ 石灰焼窯跡39ヶ所発見！！

地元郷土史愛好家有志・新井喜一氏以下10数名が数年がかりで成木の石灰焼窯跡を調査し、現在までに39ヶ所を発見。この成果を来る9月13日（日）午後1時より成木市民センターで報告会を行います。ぜひお出かけください。

◎ 秋の好日、成木の里を散策して見てはいかがでしょう。・・・黒沢川から吹上峠、松の木峠を経て小沢峠、名栗への道は、石仏の微笑と紅葉が迎えてくれるでしょう。

※文化財散歩には、青梅市教育委員会発行の「青梅を歩く」¥500が便利です。